

19-13

2019年2月7日

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2018」の最終審査通過企業を決定しました！

3社が通過、2019年3月から順次実証実験を実施予定




東京メトロ（本社：東京都台東区 代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）では、東京メトロが保有する経営資源と、スタートアップ企業のアイデアを組み合わせ、新たな価値を共創することを目的としたオープンイノベーションプログラム「Tokyo Metro ACCELERATOR（東京メトロアクセラレーター）2018」の最終審査通過企業を決定しました。

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2018」は、「共創（つながり）で東京は、熱くなる」というコンセプトのもと、「暮らす人が、働く人が、訪れる人が、共感が、それぞれが、つながって、発展する。」をテーマとし、2018年10月に協業パートナー企業の募集を行いました。

応募総数 114 件に対して、2 度の審査を経て選ばれた 12 社の中から以下の 3 社が最終審査を通過しました。2019年3月から順次、各企業と実証実験の実施を予定しており、今後の事業展開の可能性を検討していきます。

東京メトロは、幅広い外部連携を通じ、引き続き新たな事業領域に挑戦してまいります。

最終審査通過企業及び共創提案の概要は、別紙のとおりです。

最終審査通過企業	提案の概要
株式会社エンジョイワークス 	クラウドファンディングを通じた、誰もが東京のまちづくりに参加できるしくみの展開
ボクシーズ株式会社 	デジタル観光ツアーアプリを利用した、東京の新たな魅力の発見につながるお出かけスポットの紹介
Wovn Technologies 株式会社 	「WOVN.io（ウェブサイト多言語化ツール）」を活用し、情報発信を高品質かつ迅速に多言語化することによる様々なお客様への情報提供の充実

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2018」最終審査通過企業及び共創提案内容**1 株式会社エンジョイワークス****(1) 会社概要**

代表取締役：福田和則

会社 HP：<https://enjoyworks.jp/>

主な事業内容：宅地建物取引業、一級建築士事務所、小規模不動産特定共同事業

(2) 共創提案

「クラウドファンディングで東京のまちづくりにイノベーションを」

鎌倉・逗子・葉山エリアで実績のある株式会社エンジョイワークスと手を組み、東京メトロのまちづくりクラウドファンディングプラットフォーム「DIY Tokyo」を立ち上げ、東京のまちを愛する人が居住に関係なくまちづくりに参加できる未来を実現します。

2 ボクシーズ株式会社**(1) 会社概要**

代表取締役：鳥居暁

会社 HP：<http://boxyz.com/>

主な事業内容：IoT サービスの総合開発、UI/UX コンサルティング、システムの販売

(2) 共創提案

「デジタル観光ツアーアプリを利用した、東京の新たな魅力の発見」

GPS と IoT による位置情報を活用した、ガイドなしで観光地を巡ることができるアプリ完結型のスタンプラリーツアーを提供。東京の魅力を再発見し、東京を楽しんでもらうためのお出かけスポットを提案して行きます。

3 Wovn Technologies 株式会社**(1) 会社概要**

代表取締役：林鷹治

会社 HP：<https://wovn.io/ja/>

主な事業内容：ウェブサイト多言語化ツール「WOVN.io」 / アプリの多言語化管理システム「WOVN.app」の企画・開発・運営

(2) 共創提案

「鉄道会社の多言語化システムを東京メトロと WOVN.io から」

Wovn Technologies の技術「WOVN.io」を活用し、東京メトロのHP・アプリ・デジタルサイネージを高品質かつ迅速に多言語化することで、外国人のお客様への情報提供を充実させます。また、積み上げたノウハウ・翻訳資産を知財（データベース）として内外に展開を目指します。

(参考) 「Tokyo Metro ACCELERATOR 2018」最終審査選考企業

- ・株式会社エンジョイワークス
- ・株式会社シナリオ・センター
- ・株式会社ヒナタデザイン
- ・ボクシーズ株式会社
- ・BLUE TAG 株式会社
- ・EKIBO. LLC
- ・株式会社 justInCase
- ・MDR 株式会社
- ・Wovn Technologies 株式会社